

平成31(令和元)年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

認定特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

1 事業の成果

平成30年9月末に男子用の自立援助ホーム「おおもと荘」を閉じてから、ちょうど1年後の令和元年10月1日、新たに男子用の自立援助ホーム「学南ホーム」を開設することができました。

9月には子どもシェルター「モモの家」を開設して10年目の節目に当たり10年を記念してシンポジウムと祝賀会を開催しました。シンポジウムの基調講演では、日本で初めて子どもシェルターを立ち上げた「カリヨン子どもセンター」の坪井節子理事長をお招きし、子どもシェルターを通して考える「子どもの最善の利益」についてお話しいただきました。後半のパネルディスカッションでは、行政、弁護士、施設で育った若者、企業の立場から、子どもの最善の利益についてそれぞれに発表をしていただきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		事業内容		
子どもシェルター運営事業		子どもの緊急避難場所として子どもシェルター「モモの家」を運営。子どもたちが安心して気力を回復できるように寄り添い、次の生活場所が確保できるまで支援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	非公開	3人	15歳から20歳までの緊急避難を要する女子：利用者10名（入所4名、退所6名）	15,622

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		男子用自立援助ホーム「学南ホーム」の運営。虐待等の理由から家庭で生活できない子どもたちが働きながら自立することを目標に生活支援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市北区 学南町	5人	15歳から20歳までの自立を目指す男子：利用者5名（入所4名、退所0名）	15,765

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		女子用自立援助ホーム「あてんぼ」の運営。虐待等の理由から家庭で生活できない子どもたちが働きながら自立することを目標に生活支援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市北区 法界院	4人	15歳から20歳までの自立を目指す女子：利用者11名（入所4名、退所5名）	19,365

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		子どもシェルターや自立援助ホームを退所した子どもに対する「フォローアップ事業」児童養護施設等を退所した子ども・若者に対する「アフターケア事業」として他のNPO等と連携してアフターケア相談所「en」を開設し、児童養護施設等を退所した子どもや若者が、社会的に自立した生活を送れるよう、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市北区 清輝橋	10人	児童養護施設等を退所した子ども等：利用者のべ2,230件（支援対象実人数63名）	6,492

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		「自立準備ホーム」を運営し、保護観察中の子どもの再犯防止と社会で自立した生活を営むことができるよう、生活支援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市北区	7人	15歳から20歳までの自立を目指す女子： 利用者1名	1,067

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		子どもシェルターの開設10周年を記念して「子どもの最善の利益」をテーマにシンポジウムを開催した。 外部からの講演依頼があり、虐待が子どもに及ぼす影響や子どもの人権について多くの市民の理解を得ることができた。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市内	20人	シンポジウム参加者95名	643

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		組織基盤強化のため、「職員・スタッフの子どもへの対応力の向上、および支援策の検討」として職員研修やボランティアスタッフ養成講座を実施した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成31年4月 ～令和2年3月	岡山市内	3人	法人理事、職員30名/ボランティアスタッフ養成講座参加者のべ88名	1,453